



定一部金貳錢 廣告五錢 印刷費五厘 印刷部 電話六三〇番

刊夕日七十月二十

常磐毎日新聞 娼婦化した良家の女 白柳秀湖 (一) 男は少くとも一代にして...

御定食 錢五前人一御 親子井。五もく 料理 まつや 平町長橋町

正札堂 洋服と羅紗物 鐵道省私服御用 須藤房教

建築ノ絶好季!!! 機會ハ來ル! 磐城建設株式會社

移轉御披露 牛豚肉大賣出し 大塚吉藏

毒 淋病 婦人病 專門 院病村松 部科外

冬物に 新型帽子 折中 ツルヤ

銀なべ 御入浴も御隨意です御散歩の折に是非從來同様御運び

養命酒 特約店 山野邊藥局 福島縣平町五丁目

家庭活動寫真 佛國パテリ社が多年研究發表せる小型機械と

常盤屋時計店 常盤屋時計店 電話三三九番

金成酒店 平町向鎌田 主金成錦星

赤心堂病院 内科・外科・花柳病科 耳鼻咽喉科・婦人科

### 石城の養蠶業は 改善の餘地が多い

未だ自覚が足りない  
野村技師は語る

本邦主要輸出品たる生糸の 聲價を維持發揚せしむる具 體的方策は各専門家が多年 研究中であるが石城郡農會 では生糸 生産費の 六割は原 料繭の費用であり更に繭價 の四五割は桑葉の費用であ るからとて製絲方法の改善 を圖ると共になるべく良質 の桑葉を低廉に收穫せしめ て繭の生産費を低下せしめ

### 大金の紛失から... 鐵道側の無誠意暴露

銀行業者憤慨

全國にも激を飛ばして 合はたゞ鐵道側を信頼する より他に途がないので一般 旅客はもち論莫大の現金託 送を行つて居る各銀行側で はそれに對する鐵道側の注 意一層嚴重ならん事を望ん で居る

### 乗務員

に嚴重な警 告を發すると共に今後監視 を一層嚴にする事になつた が全國的に見て鐵道省側で は客車内の犯罪や乗越客等 にのみ重きを置く傾きがあ るが客車内の犯罪は旅客同 志の

### 注意

防止も出來 るがこの度の事件の如き場

### 常磐片々

一萬圓紛失事件、銀行側と 鐵道側とで互ひに罪のなす り合へは御苦勞千萬かたじ けなし

僅か四十五錢で托送を依頼 した銀行側に手落があるの は勿論だが安い賃銀で預つ たんだからと紛失する様な 無責任な取扱へで平氣で居 る鐵道側の罪も重い

吉田町議の辭職説は熱さま しのアンチピリンだと、今 度は賣藥屋になつて九層倍 も儲ける氣か

### 寒さの來る年

ことし大正十 四年の十二月 の終りからか けて、大正十 五年、つまり 西曆千九百二 十六年の一二 月までの間は冬(こよみの 冬)がいちばん長くつゞく じ、また百年このかたなか つた寒さがこの地球の一帶 をおそふであらうとの 豫言をした學者が あります。この寒さは一世 紀に一度づゝ來るもので、 ちやうどことしから來年の 一二月までがその百年目だ といふのです。これはカエ ンといふ

出來ぬといふので近く會合 を催し場合によつては全國 同業者に激を飛ばして對策 を講ずるといきまいてゐる

### 町議辭職はウソの皮

吉田壽三郎氏檢事局に召換

四倉町海岸拂下け問題に崇 られた、町會議員吉田壽三 郎氏が町議を辭職して謹慎 の意を表したとは昨報した 所であるが其實は未だ何等 辭職の手續き等を踏まず唯 激昂收拾し能はざる人心を 緩和すべく斯くの如き虚報 を齎したものと判明したか らまた一紛擾は免れまいと 因に吉田氏は昨日平檢事局 に召換され宮崎檢事より長 時間に亘つて峻嚴な取調を 受けた

### 漁船が衝突

大破した 去る十四日夜石城郡江名町 字折戸吉田長左工門の所有 船と同郡豊間村鈴木喜一の 所有船が相馬郡沖合にて衝 突大破したと



家庭の 閉

幼い時は自分のものと他人 のものが區別が、なくて 盗む車がありますが、これ 盗癖のある子供を ならば、其後は親愛の度を 強にする事が大切で、子 供に親しむ父母は家庭の整

### 大學の

教授で天文 學者のガブリエルといふ人 が云ひ出したことで、フラ ンスの有名な天文學者ビゴ ルダンといふ人の紹介でパ リの學士院に發表したのも です、ガブリエルといふ人 は過去七百四十四年の間の

### 氣象の

記録と天文 現象とを研究して割り出し たもので、さう信用のおけ ないものではないさうです

### 自轉車の

盗難に備ふ 平町の自轉車組合の組織が 成つた事は既記の如くであ

般縣會で草野順平氏から縣 當局に質問し石城郡出身の 縣議からは建議案を提出し てゐるが十五日石城郡町村 長協會でこれが陳情書を縣 に提出した

### 玉川信用建築

石城 郡玉川村信用組合は從來組 合長野崎千代松方に事務所 を設けて事務を執つて居た が今回同村字林城小泉甚三 郎氏住宅を買受け十四日よ り事務所建設工事を開始し た

### 暮れの街頭

彩旗賑々し 暮れもおど迫つてあと十五 日新しい年を迎へ様とする 人の面は緊張し町行く男女 のものごしも急に忙しくな つた平町の各商店は一齊に 大賣出しを

### 開始し

思ひ くに意匠を凝らして客の 吸収に餘念がない三丁目四 丁目の大道りは聯合大賣出

しに景氣をつけ本町通りは 赤や青のとりませた吊るし 旗で非常な人氣を呼んでゐ る地方は恒例によつて

### 落磐に

同僚も重傷 石城郡湯本町大字湯本字日 渡入山炭礦採炭夫同部永戸 村生れ根本米吉は十六日午 前四時半頃同炭礦第五坑々 内に採炭に従事中坑天井 落下し其下敷となつた爲め 押し潰され傍らで働いて居 た同僚齊藤慶造は左足の拇 指を挫滅したと

### 伊藤氏の不幸

櫻花 の際に勸業博覽會を開いて 平町の繁榮に努めた平驛前 伊藤一氏の嚴父誠一氏は昨 夜十一時死去し明十八日午 後二時自宅出棺菩提院にて 葬儀を執行すると

### 變つた拾へ物

石城 郡豊間村字沼肉漁夫比佐熊 吉は十四日午後四時頃同郡 高久村沖合一里の個所に於 て死んで漂流して來たオツ トネを拾ひ同村駐在所に 届出た

### 櫻村署長の喜び

櫻 村警察署長の令夫人は昨 日午前九時四十分玉の様な 男兒を擧げ母子共に健全と は目出度し

### 平町人事

出生 白石町四五 安藤勝蔵氏長男克郎 △新川町一四 通信事務員鈴木義明 氏(二一) 宮城縣大河原町大友トッ (二六)